

競技注意事項

2025. 9. 9 時点

1. 規則について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および本大会の申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 練習については、相模原ギオンフィールド（競技実施中は一部制限あり）および雨天練習場を利用し、競技役員の指示には必ず従うこと。なお、練習場の詳細については、練習場注意事項を参照すること。
- 3) 相模原ギオンスタジアムでは競技以外での芝生への立ち入りを厳禁とする。
- 4) グラウンドおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 5) トレーナー活動は、各大学の待機場所にて行うこと。

3. 競技者の招集について

- 1) 招集所はA ゲート付近（ホームストレート側 100m スタート地点後方、諸室図参照）に設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程に記載の通りとする。
- 4) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等の商標のチェックを行う。また、荷物運搬袋および、トラック種目出場者のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取ること。
- 5) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 6) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が TIC（招集所前）または大会インフォメーションに用意している「重複出場届」を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに、TIC（招集所前）に提出すること。**
- 7) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに TIC（招集所前）に提出されていない場合、当該種目を欠場したものとして処理する。
- 8) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
- 9) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、ラウンドごとに、その都度オーダー用紙に記入して、**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC（招集所前）に提出すること。**また、オーダー用紙について、予選は大学受付にて配付する ID とアスリートビブスに同封し、決勝は TIC（招集所前）にて受け取ること。
- 10) 棒高跳の招集は競技開始の 1 時間前に競技実施場所にて行う。また、棒高跳の練習は競技実施場所、競技開始時刻 1 時間 40 分前から行うことができる。
- 11) 混成種目の招集時刻については「8. 競技について 5) 混成競技について①」を参照すること。

4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでもよい。
- 2) トラック種目出場者は、競技者係（招集所）が配付する腰ナンバー標識を両腰の上部、やや後ろにつけること。なお、5000m、10000mW においては周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。
- 3) 5000m、10000mW、4×100mR、4×400mR 出場者には、レース用特別アスリートビブスを配付する。**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC（招集所前）に受け取りに来ること。**混成競技出場者には、最終種目のみ特別アスリートビブスを該当種目開始前に配付する。

4) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	配 色
● 男子	黄色地×黒数字
● 女子	ピンク地×黒数字
● 男子 5000m/10000mW/4×100mR/ 4×400mR/十種競技 1500m	白地×黒数字
● 女子 5000m/10000mW/4×100mR/ 4×400mR/七種競技 800m	白地×赤数字

5. 欠場について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合、9 月 18 日（木）14 時 00 分までは、本連盟 HP に掲載をしている欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス（kanto-entry@kgrr.org）に送信すること。

また、9 月 18 日（木）14 時 00 分以降に欠場を申し出る場合は、欠場届に必要事項を記入、押印し TIC（招集所前）に提出すること。なお、欠場届はアスリートビブス等の事前配付物に 5 枚同封しているが、不足の場合は大会本部指定の用紙を TIC（招集所前）、または大会インフォメーションに取りに来ること。

6. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック種目のレーン順・フィールド種目の試技順は、プログラムに記載の通りとする。
- 2) 予選以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- 3) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。
- 4) リレー種目は、A 決勝進出チーム以外の記録上位 8 チームによる B 決勝を実施する（女子 4×400m リレーは除く）。
- 5) タイムによる次ラウンドへの進出者（チーム）を決定する際に、最終枠に同記録（0.001 秒単位）がありレーンが不足する場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い、進出者（チーム）を決定する。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（棒高跳用ポール・投てき物を除く）は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 2) 棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用すること。
- 3) 投てき物に関して、主催者が用意した投てき物としてリストに複数ないものについては、検査に合格した個人所有のもの（日本陸連検定品かつ WA 認証品に限る）を 2 個まで持ち込むことができる。
- 4) 投てき物の持ち込みを希望する場合は、**事前に申請書を記入し**、競技開始時刻の 1 時間 30 分前～1 時間 00 分前までに**器具庫 A**（諸室図参照）にて受付を行い、公式計測員の検査を受け、使用することができる。なお、検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。持ち込みの投てき物は競技終了後、**器具庫 A**（諸室図参照）にて返却する。

8. 競技について

- 1) トラック競技
 - ① 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。
 - ② 200m までの競技は、気象条件によっては、バックストレートで実施する場合がある。
なお、競技開始時刻の概ね 30 分前を目安に決定する。
 - ③ 男女 10000mW において、男子は 58 分 00 秒、女子は 63 分 00 秒で残り 1 周に達していない者は失格とし、競技を中止させる場合がある。また、先頭の競技者が残り 1 周となっても競歩審判員は移動しない。残り 100m からフィニッシュまでの間で、競技者の歩型が競技規則 TR54.2 に明らかに反する時には、競歩審判員主任はその競技者に既に出されたレッドカードの有無にかかわらず、当該競技者を単独で失格にする権限を有するものとする。
 - ④ 5000m 以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水およびスポンジを用意する。

2) リレー競技について

- ① リレーメンバーに関しては、TR24.10〔国際〕を適用し、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。
- ② 最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、最大 4 名まで他の競技者と交代することができる。
- ③ リレー種目で同大学から 2 チーム出場する場合、チーム間の選手交代は認めない。

3) 跳躍競技

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11				+3cm
	女子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76			
棒高跳	男子	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m25	+5cm
	女子	2m70	2m90	3m10	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

- ② 男女走幅跳、男女三段跳および男子走高跳は 2 ピットで行う。なお、トップ 8 確定後の 4 回目以降の試技についても各自のピットで行う。
- ③ 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近いほうの端から男子 12m、女子 10m とする。
- ④ 練習跳躍を除き、踏み切り位置を当該競技者に示さないこととする。

4) 投てき競技

やり投は風向きに関わらず B ゾーンで行う。

5) 混成競技について

- ① 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ **競技者は、走高跳は 1 日目、棒高跳は 2 日目のそれぞれ最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。**なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。※練習の高さは、競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
走高跳	男子	1m52	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	1m70	1m73	1m76	+3cm
	女子	1m35	1m38	1m41	1m44	1m47	1m50	1m53	1m56	1m59	
棒高跳	1組目Aピット(バック)	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	+10cm
	2組目Bピット(Aゾーン)	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	

6) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回種目において、周回遅れか、周回遅れになりそうな競技者が先行する競技者のペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③ フィールド種目に出場している選手に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とする。

- 7) コーチングエリアについて
監督・コーチエリアをメインスタンド・バックスタンド・サイド芝スタンドに設ける。

9. 表彰について

- 1) 各種目 3 位までに入賞した者（B 決勝が行われた場合は A 決勝の 3 位まで）は、競技終了後に表彰を行うので、表彰対象者控場所（諸室図参照）に集合・待機し、式典表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰を受ける際は、上は各校の公式 T シャツあるいはジャージ、下は公式ジャージを着用すること。
また、アスリートビブスも着用すること。
- 3) 代理表彰は一切認めず、不在の場合、空席として表彰を行う。
- 4) すべての競技終了後、本大会最優秀選手を男女各 1 名選出し、表彰する。

10. 結果発表・抗議について

- 1) 競技結果の正式発表は、大型スクリーンにより行う。場内アナウンスでも発表は行うが、抗議については大型スクリーンへの掲示時刻が基準となるので注意すること。
- 2) フィールド種目において、現場での抗議（競技中の抗議）があった場合、審判長により該当する事項を保全するためにその試技を計測、記録することが認められる。
- 3) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内）に、TIC（招集所前）にある抗議受付用紙に記入して提出する。その後、大会本部に常駐の総務員を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

11. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バック等を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟の「競技会における広告および展示物に関する規定（国内）」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

12. 衣類の管理について

- 1) 荷物運搬用としてビニール袋を招集所で用意する。大学名、氏名、組数を招集所入口で記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等の荷物はビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。これらの荷物は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。

13. 緊急車両・応急手当の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配しないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急手当を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2025 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 1) 入場制限について
本大会は、以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
監督・コーチングエリア	競技役員・チームスタッフ
相模原ギオンフィールド (競技実施中のみ観客入場可)	競技役員・選手・チームスタッフ
グラウンド・招集所・ミックスゾーン	競技役員・選手
雨天練習場	競技役員・選手・チームスタッフ
各諸室	競技役員

- 2) 競技運営上、競技日程を多少変更する場合がある。
- 3) 競技終了後は、種目・ラウンドに関わらず、必ずミックスゾーンを通ること。
- 4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

一般社団法人関東学生陸上競技連盟